

# 建材コレクション

特 集 社

東京都千代田区内神田3-2-4 テイトビル 〒101-0047  
電話 03(3256)3266(代表) FAX 03(3256)3264  
購読料(前納) 1カ年 73,500円 / <http://www.tokushusha.co.jp>  
e-mail root@tokushusha.co.jp

-CONTENTS-

平成25年3月15日発行  
第2438号

現況	幅広化進むエキスパンションジョイント	2
特集	遮熱ガラスコート材(剤)の現況	3
	☆2012年の国内需要は激減	
	☆大手塗料メーカーは静観の構え	
特集	酷寒・酷暑エリアに普及、湿式外断熱	10
	☆土屋ホームは原則全戸に採用	
	☆建設・施主の理解はまだ薄い	
建材・住設ニュース		15
	文化シヤッター、LIXIL、日東工器、三協立山、セイキグループ、 日本金属サイディング工業会、リンテック、元旦ビューティ、 節電ECOショップ、ナカ工業、スガツネ工業	
フレッシュ・ジャンプ商品		
	屋根一体型「元旦トップライト」	27
建築着工統計推移グラフ(住宅着工計)		28

**LIXIL**  
Link to Good Living

LIXILは優れた製品とサービスを通じて、豊かで快適な住生活の未来を創造する「総合住生活企業」です。

株式会社 LIXIL <http://www.lixil.co.jp/>

# 現況

## 幅広化進むエキスパンションジョイント

エキスパンションジョイントの需要が上向いてきた。日本エキスパンションジョイント工業会の集計によると、規格品（アルミ形材製）の市場規模の前年比は、2008年98.7%、2009年86.7%、2010年62.4%と減少を続けたが、2011年は113.5%（出荷数量589千m）と上昇に転じた。同工業会会員会社は次の6社である。エービーシー商会、ナルコ岩井、理研軽金属工業、井上商事、カネソウ、三昌。

低迷期はリーマン・ショック前後の経済全体の落ち込みによる。2011年、2012年は順調に推移したが、伸びは落ち込みの反動と、若干の震災特需。東京をはじめビル建築が動き出したことを映した。

需要対象はほとんどが中高層ビル、低層マンション。両者の改修時に使うケースが増えた。高層の免震構造が増えたので、広幅化が進んだ。淡路阪神大震災後その傾向があったが、東日本大震災後一挙に強まった。

構造計算上、国交省、ゼネコンの意見一致が背景にある。

広幅タイプはこれまで耐候性のあるステンレス製が使われ、アルミ製メーカーもOEMでステン製を販売していた。高層化による広幅化でステン製は徐々に板厚を増していったが、同時に重量が増えた。ゼネコン、施工業者はステン製とアルミ製を、比重（アルミはステンの3分の1）、価格（ステンが高い）、施工（アルミは軽いので扱いやすい）などの観点から比較してアルミ製を求めるようになった。

昨年あたりからオーダーによる幅250～600mmのアルミ形材製が出始めており、エービーシー商会、ナルコ岩井、カネソウなどアルミ製メーカーも広幅についてはOEMのステン製からアルミ製で対応するよう発想をきりかえてきた。

エキスパンションジョイントはようやく出荷が伸びる方向に進み始めたが、実勢価格はそれに比例して伸びる方向ではない。

## 遮熱ガラスコート材（剤）の現況

### 2012年の国内需要激減

遮熱ガラスコート材（剤）の2012年の国内向け業界出荷は激減した。

2009年頃、エコ関連新商品として市場に出て、市場拡大の一途にあつただけに、呆然となった業界関係者は多かったであろう。

コート剤のメーカーは、国内に数社あるだけだが、メーカーをとりまき衛星のように膨れ上がった発売元（OEM販売業者）、運営会社（販工店）はいま小休止状態のところがあるし、業界で名の通った発売元も1社倒産した。関連業者はこの1年で施主の厳しい目によって振るい落とされた。

2012年の需要激減にはそれなりの原因がある。

先ず、遮熱ガラスコートの情報が施主に行き渡りかけたことだ。エコ商品という触れ込みで飛びついた施主もあったが、コート剤の技術的特性の氾濫、施工不良、競合品（断熱ウインドウフィルム、Low-E複層ガラス等々）の存在、などの情報錯綜で、エコとしてのガラスコートの優位性が失われた。

2012年は、消費者、施主のエコ認識の流れが完全に変わってしまった。東日本大震災、原発事故により節電意識が高まり、ガラスコートへ需要が回ってくると期待されたが、市場ニーズは節電から発電・売電へ、エコの流れは太陽光発電へ行ってしまった。

新築の窓においては断熱性の高いLow-E複層ガラスが使われ、新築へのガラスコートの途は閉ざされた。

もともと、ガラスコートは複層ガラスより低コストが売りであったが、末端市場ではガラスコートより複層ガラスの方が安くなっている。

遮熱ガラスコート市場は既存ガラス窓に塗る改修物件へと狭まった。

遮熱ガラスコートの市場規模は、ピーク時の2011年で年間25万m<sup>2</sup>（施工面積）と推

定されていたが、2012年は前年比30%以上減少した模様だ。40%以上減った発売元もあった。

需要低迷する中で発売元とその下の衛星業者、運営会社は、建設会社、関連企業など縁故を頼って物件を獲得し辻褄を合わせた。

実勢価格は、「工事店は7,000~8,000円/m<sup>2</sup>（材工）で戦っている」（運営会社）との見方は甘い方で、5,000円/m<sup>2</sup>という物件もあった。ちなみに遮熱ガラスコートの設計価格は平均15,000円/m<sup>2</sup>（材工）である。

2月までは、冬場で「コート材」は不需要期であったが、3月末以降、2011年時の活性さを再現できるか興味が持たれる。エコ／建材展では発売元、運営会社の出展に名を連ねている。コート剤のそれぞれの特性を認めるとても、今後は施工結果が業者の浮沈を左右することになる。

遮熱ガラスコートの国内需要は改修物件に定まった。改修物件をいかに広げていくかにかかっており、ハプニングが起こらない限り、市場拡大はありえない。

このような限られた市場に対し、大企業が参入、関心を寄せる姿は奇観とさえ言える。「マーケティングを基に進出を決めた」という大企業もあった。

業態的に「コート材」に近い塗料メーカーは、最も手掛けやすい立地条件にあり、数

## 業界初！窓ガラス・外壁用の汚れ防止コート誕生。 安心の研修付き材料販売スタート。

**セット価格  
¥100,000  
(税別)**

1.帯電防止 2.常温速乾 3.超親水性 4.無機100% 5.ハードコート  
6.耐薬品性 7.高透明・低屈折

**セット内容**

- ・スーパーガラスバリア：1L×1
- ・スーパーガラスバリアGタイプ：1L×1
- ・表面抵抗値計 ×1個
- ・パンフレット・商品資料一式
- ・3Hの商品研修・施工研修

節電ECOサポート

<http://www.ecoshop.bz>

株式会社節電ECOショップ

〒111-0053 東京都台東区浅草橋2-25-10 チヤコベーパー会館3F

TEL:03-5820-1665 FAX:03-5825-6504

■大阪推進室 TEL:06-6302-1355

年前、軒並みに進出を試みたが、いまは静観の構えに変わった。

日本特殊塗料は2011年10月、「NTサーモバランス」を発売したものの未だラインナップに加えておらず、営業活動もしていない。

ニッペホームプロダクト（日本ペイント系）がホームセンター向けに日曜大工用を流しているのが目立つ程度で、ほとんどの塗料メーカーは主力塗料の拡販に傾注している。塗料メーカーが「コート材」市場の主役になる兆しは全くみられない。

三国コカ・コーラボトリングの子会社三国サービス（埼玉県桶川市）は、2011年エコ事業として、太陽光発電システム（OEM）、「コート材」（OEM）の販売を始めたが、先頃「コート材」については販売を止めた。「これまで何件か施工したが、遮熱効果が曖昧で、施主への検証が難しかった」。

大日精化工業は、2013年中に「アクアクール」を発売する予定。同時に断熱ウインドウフィルムの販売も計画している。同社が取り組んできた顔料・着色剤の開発・製造技術の中から液剤購入を含め製品化したもの。

液剤は水性で、屋根用断熱塗料と合わせて、関連ユーザーの工場、店舗、ビルを対象に物件を獲得していく。

セーラー万年筆は、コート材発売元スマートコートPRO（福岡県筑紫野市）とタイアップ（セーラーはスマートを代行会社、スマートはセーラーを正規取扱店と位置付けているが、両者はコーティング剤でつながりがある）により「コート材」事業が軌道に乗りかけている。このほどセーラー万年筆は環境対応事業部を立ち上げ、エコ商品の強化をはかるとした。関東、中国地区の出先でコート材「スマートコート」を販売する。

「スマートコート」はSiO<sub>2</sub>をベース材にしており、コート材は施工後無機質で硬い塗膜。

「スマートコート」は2012年も前年比約2倍増の実績を残した。セーラー万年筆、内田洋行、千代田組、日通不動産ほか、上場会社約20社との営業パイプを持ち、2009年以降110件以上の大中型物件を施工した。そして現在ではアジア、中南米で海外展開がメインになっている。

「遮熱ガラスコート材」（仮称）は、窓ガラスに遮熱・断熱コート剤を塗って、夏期・冬期の空調改善、冬期の結露抑制により、建物（居室・オフィスビル・ホテル・病院など）の省エネ効果をはかろうというもの。

## 有力メーカー・発売元の現状

断熱ガラスコート材（剤）業者で、団体にあげられるのはスケッチ／節電ECOショップ（東京都）である。スケッチはコート材のメーカーであり、節電ECOショップは販社である。

スケッチは2011年は過熱した「コート材」の需要急増を受けて、最需要期の6月～8月の3カ月だけで、OEM供給分を含め12万m<sup>2</sup>を受注したくらいであったが、2012年は例にもれず国内向けは減少した。しかし、地道にルートづくりを続けてきたことが奏効して激減を免れた。

他方、スケッチは2012年、三つの事業を推進して躍進した。

一つは国策によってアジアを中心にグリーンビル化が進む海外展開で実績をあげたことだ。マレーシア、韓国、中国、シンガポール、タイ、フィリピンなどアジアのほか、ブラジル、ロシアへのパイプを広げた。海外展開については一部の同業他社も始めている。

二つは外窓ガラスのクリーニング事業である。

三つはメガソーラーパネルのメンテナンス分野へ向けた展開である。同社はカバーガラスの汚れ位置による発電効率低下を抑制するアフターメンテ用コーティング剤「ソラーセルフメンテコート」を開発しており、「開発代理店」（塗料ディーラーなどが加盟）まことに供給、普及を図っていく。

同コーティング剤はナノサイズの凹凸膜を基材表面に形成するフラクタル理論と呼ばれる技術により水滴接触角5度以下を実現した超親水塗膜形成コーティング剤。これによる自己洗浄性に加えて、酸化スズやカーボンナノチューブ応用により帯電防止機能を極限まで高め、汚れを寄せ付けない機能に優れているという。「光触媒コーティングでは対応できなかった砂塵などの帶電した無機物や煤煙なども寄せ付けないため、発電効率低下対策としては現状で最適な製品」としている。施工に関してもスキージによる現場施工方法を確立、汎用化を実現している。

## 5つのECOビジネスモデル

スケッチの販社節電ECOショップは、このほど「5つの節電ECOモデル」を確立、関係業者を全国的に募集、育成を図っていく。

①遮熱・断熱ガラスコート取り扱い研修コース。

塗装業者、内装業者、リフォーム業者、建設工事業者、ガラス・サッシ業者を対象に「ガラスコート」施工ビジネスの研修を行う。

②企業紹介・節電ECOサポーター研修コース。

## AWAJI Prefloor System プレフロア-E/DHシステム(△L等級対応)



軽量床衝撃音低減性能  $\Delta LL(II)-3$   
重量床衝撃音低減性能  $\Delta LH(II)-2$

※上記の試験結果は(財)日本建築総合試験所「床材の床衝撃音低減性能の等級表記方針」に基づくものです。  
※上記の床衝撃音レベル低減量のデータは、壁式構造実験室における200mm厚RCスラブ上の試験結果です。  
床の断面仕様や壁際納まり仕様が変更された場合には、床衝撃音レベル低減量にも変化が生じことがあります。

### 測定環境

試験方法: JIS A1440-1-2  
試験施設: 壁式構造実験室  
試験床板: 200mm厚RCスラブ  
加振点数: 対角5点  
試験機関: (財)日本建築総合試験所  
試験日: 2009年11月19日  
試験番号: IVA090183号  
床仕上げ高さ: 120mm



淡路技建「エコステップ工法」で、ゴミの減量化とコストダウン！

特許第24627322号

登録日 平成22年11月19日

エコステップ工法は、床暖房パネルのボーダー部位に捨張合板12mmが2層（図1）に使用される「無駄（段差24mm厚分）」に着目し、床暖房パネル下にAKベニヤ8mmを使用することで、段差を20mm（図2）にしました。

そして、ベースパネルの切断に伴って発生する小寸法化したベースパネル（20mm厚）をボーダー部位に使用することで、合板の浪費を減らし、ゴミの減量化を図ることが可能になる工法です。詳細につきましては、営業までお問い合わせください。



プレフロアーシステムを通して  
人々の快適住環境を支える  
AC 淡路技建株式会社  
TEL.03-5822-5271 FAX.03-5822-5272  
TEL.029-873-4702 FAX.029-874-4075



企業役員OB、NPO法人・環境関連、企業向けに販売窓口を持つ企業、節電、省エネ商品販売会社、組合、団体事務局を対象に、ガラスコート・ソーラーメンテに関心がある企業の需要開拓を進める。

③外断熱・防汚コート取り扱い研修コース。

外壁塗装業者、防水工事業者、建設関係業者、ECOビジネスを検討している人を対象に外断熱+防汚コート取り扱いの研修を行う。

④消臭・抗菌コート取り扱い研修コース。

内装業者、リフォーム業者、消臭ビジネスを検討している企業向けに消臭・抗菌コートの研修を行う。

⑤ソーラーセルフメンテサポーター研修コース。

任意団体「ソーラーメンテ協会」の特別会員資格を持ち、ソーラーセルフメンテコートを中心としたソーラーパネルのメンテナンスビジネスを推進する個人または企業・団体を対象に事業の研修を行う。

また、スケッチはOEM供給を通じてDIY展開も進めている。

フォーユー（東京都）は住友金属鉱山の原料を使って「アットシールド・クリア」を製品化し、原則として「コート剤」の販売のみを行っている。

5日間の研修で施工特約店に登録される研修会を常時行っている。

過去9年間の施工実績で商品性は施主から評価されており、2012年は需要低迷にもかかわらず、出荷は前年横ばいを維持したもようだ。これまでに、官庁、ホテル、コンビ

## 閉じ忘れないで、冷暖房のエネルギーを逃がさない。 自動ドアは省エネに貢献しています。

### ■「自動ドア」は、冷暖房の無駄を抑えます。

自動ドアの電気代を心配する方もいらっしゃいますが、

電気を使うのは平均6秒程度で、ほんの一瞬です。

節電の為、自動ドアの電源を切って

扉を開けたままにすることは、冷暖房の無駄になり、

かえって大きなエネルギーを消費することになります。

自動ドアは閉じ忘れないで、冷暖房の無駄を抑制し、

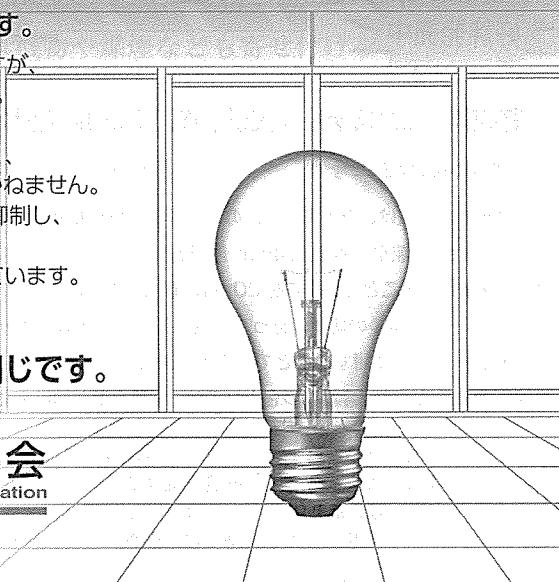
建物の快適性を向上させる効果があります。

自動ドアは電気の節約で、省エネに貢献しています。

**自動ドア1台当たりの消費電力は、  
蛍光灯20W1灯の消費電力とほぼ同じです。**

**JADA 全国自動ドア協会**  
Japan Automatic Door Association

〒105-0022 東京都港区海岸1丁目9番18号  
ホームページ URL : <http://jada-info.jp>



ニ、ショールームなどに累計6万m<sup>2</sup>以上を施工、施工件数1,100件に近づいた。

これとは別に、屋根・外壁用高性能日射熱反射塗料（アットシールド・エコ）、防虫対策用コーティング剤（UVスモーク／UVホワイト）、蛍光灯用高性能反射板（ライトプラス）を合わせて販売している。

石原産業は、光触媒酸化チタンの原料メーカーとして、親水系「透明遮熱ガラスコート」を販売している。国内施工代理店約80社を組織化したが、折からの需要不振の影響をまともに受けた。アジア市場も視野に入った。

スマートコートPROは、商品性、業績の伸長性で特筆できるが、現状は別項のとおりだ。

フミン（福島市）は、運営会社であるが、施工法がスプレー方式ということで知名度が高い。国内に110社あまりと代理店契約を結んでいる。スプレー方式の是非、施工コストの競争力がクローズアップされてきて、2012年の出荷は伸び悩んだもよう。

シンガポールに現地法人を設置している。

オキツモ（三重県名張市）は新規参入組だが、自社各種コーティング材、光触媒塗料、耐熱塗料の品揃えとして、遮熱コーティング材「GLC-1」を製品化した。販売を始めたばかりで、まだ、販売実績は少ないが塗料事業部の中に環境市場開発課を設け、光触媒製品と合わせて拡販していく。今後の同社の動向は注目される。

クリエイティブライフ（東京都）は、自前のコート材を持つが、運営会社的な企業形態で、建材商社ルートからの物件を施工している。

東亜システムクリエート（豊中市）は、OEMのコート材の販売のみを行っている。

エコップ（京都市）は、マレーシアのクリスタルボンド社からコート材（クリスタルボンド）を輸入、販売、工事を併行している。コート材はシリカ系バインダーを使用、液性は紫外線劣化しにくいとしている。2012年の出荷は2億円（材工）としている。コート材が輸入品だけに安定仕入れを懸念するむきもある。

大光テクニカル（岐阜県海津市）は、コート材「エコガラスコート」の製造・販売・施工を行っている。全国展開だが当初の西日本から関東中心へとエリアが広がった。2012年は3,000m<sup>2</sup>を施工した。

翠光トップライン（東京都）は、鉄道用ウインドウフィルムの運営会社だが、2010年に一般消費者向けコート材、スプレータイプを発売。2011年から業務用「CLEAN-M1」の販売を始めている。最近あるチェーン店のショールーム全店向けに3万m<sup>2</sup>を受注している。

## 酷寒・酷暑エリアに普及、湿式外断熱

建物断熱工法の主流が「内断熱」という中で、湿式外断熱工法が徐々に普及しつつある。湿式外断熱工法については大手・中堅住宅メーカー各社がオプションとして採用している。

「湿式」はマンション、学校、病院などRC低層建築と戸建て住宅（木造在来・2×4）の二つの市場向けがある。発売元は住宅、RCのどちらか得意にしているが、両方を指向するところもある。

湿式外断熱工法は、日本とは逆に欧米では主流とかで、数字的な普及データを開示している輸入業者もある。日本ではまだ建築業者、施主から製品が理解されているとはいえない。

日本には1950年代から輸入品があり、輸入業者の努力で池へ落ちるひと滴のように採用されていたが、折からの省エネ気運で見直されている。今後、エネルギー関連の法改正の動きによっては、さらに注目されることになる。

現状は輸入工法あり、国内開発工法あり、使用断熱材も、ポリスチレン、ウレタンフォーム、フェノールフォーム、炭酸カルシウムなど色々で、入り乱れている。本命工法はまだない。いまのところノウハウの厚い輸入工法が市場をリードしているが、適切で大型の国内開発工法ができれば、市場の流れは国内開発工法へと一変する可能性がある。

「外断熱」は、戸建て住宅では建物全体を断熱材ですっぽり包み込む建築工法だ。それにより、

- エネルギー効率向上
  - 結露を防ぐ透湿性（カビ、ダニを防ぐ）
- のメリットが得られる。

その他、発売元によっては色々な利点があるであろう。例えば自由設計とか、耐震性とかである。

湿式外断熱工法は、戸建てでは北海道・東北とか中国・九州とか、極端に寒いエリア（暖房）、極端に暑いエリア（冷房）での普及が目立っている。

戸建て中堅の土屋ホーム（札幌市）では、このほど自社の木造在来工法、2×4工法の住宅へ基本的に湿式外断熱工法を採用することを決めた。使用する断熱材はポリスチレンフォーム、フェノールフォーム。

同社は外断熱採用理由として、

①内断熱工法は壁と、柱、間柱との間に隙間ができ、断熱効果が落ちる。

②木造住宅は建築後年月が経つと、木材の収縮で隙間ができ断熱効果が落ちる。

としており、東北以北の市場に強い同社ならではの考え方である。

同じ札幌市に本社を置く不動産業者テスクは、RC建物向けに2001年から自社開発の湿式外断熱工法「ハイバール工法」をFC展開（パートナー業者66社）しているが、2012年は全国で500棟の施工を行った。そのうちテスクは札幌市近郊で40棟を施工した。

「ハイバール工法」の断熱材はポリスチレンフォーム、ボードに押出成形セメント板（三菱マテリアル建材）を使用、表面仕上げは90%以上をタイル貼りである。協力工場を札幌、関東2ヵ所に置いている。

北海道では岩倉化学工業（苫小牧市）が自社ポリスチレンフォーム拡販策の一つとして2010年RC・木造向け湿式外断熱工法「ビオシェル」を発売したが、取り上げるほどの施工実績はまだない。

関東ではパワービルダー郡建設（千葉県旭市）が、自社物件「ワールドハウス」全棟（2012年210棟）に湿式外断熱工法を使用している。2003年4月、合理化システム認定を受け「KJP外張壁断熱工法」を自社物件に取り入れた。断熱材は旭化成建材のフェノールフォーム「ネオマフォーム」。パネル部材は自社生産している。

前記のとおり、いまは内断熱工法が主流のため、湿式外断熱工法をメニューに取り入れている建築・住宅業者のほとんどは、客の要望があれば採用するだけのところが多く、客の要望は少なく、いくつかの施工実例があるだけといった具合だ。

その中で、商社高島は、建材商社野原産業が開発した湿式外断熱工法「パッシブウォール」を2007年から病院、学校の改修、新築マンション物件へ売り込んできたが、ここ2～3年は、新築向け前年比10%増、改修向け前年比20%増で推移している。

左官・塗装材メーカーフッコー（山梨県笛吹市）は2007年、湿式外断熱工法「エコボディシステム」をRC・住宅向けに販売してきたが、2010年頃から需要が増え、材工の実績は前年比20～30%増で推移している。

同社の断熱材は発泡ポリエチレン、色々と製品特長を持つが、仕上材は自社塗装材（SMX）を使用している。

湿式外断熱工法の発売元は、断熱材の消費先でもあり、断熱材メーカーのヒモが付いている。

輸入製品「ドライピット」の代理店サンクビット（東京都）は発泡スチロールメーカー金山化成（持株66%）、発泡ポリスチレンメーカーJSP（持株34%）の子会社で2社の発泡樹脂製品の消化の役割をしている。フェノールフォームでは旭化成建材の「ネオマフォーム」、発泡炭酸カルシウムではフジ化成工業の「ロックセルボード」が「工法」業者の隅々にまで浸透している。

仕上げ材ではアイカ工業の塗材「ジョリパット」を使用する施工業者が多い。

湿式外断熱工法の目下の需要地は北海道であり、同工法に意欲を持つ発売元は大体札幌市に営業所を置いている。

施工業者で先行しているのは東邦レオ（大阪市）である。同社は自社開発「エコサム」、輸入品「ドライピック」の工事込みの販売を行っているが、RC建物向けに2012年度は8.5億円販売したとみられる。

湿式外断熱工法の輸入品としては、サンクビット、イフスジャパン（静岡県掛川市）、高本コーポレーション（東京都）が目立っている。3社とも色々な輸入建材を扱っており、湿式外断熱工法単体の売上げは年間数億円単位であろう。

輸入「湿式外断熱工法」は横並びの特長を備えている。内断熱工法に比べ、

◎省エネ効果が優れる。（30%位の差がつくとか）

◎屋内の空気が優れる（カビ、ダニが発生しない）。結露を防止する。

◎改修対応が容易。

◎建物の寿命が長くなる。

◎デザイン性（カラー、造形、質感）に優れる。

◎屋内全体の温度差が少なくなる。

といった特長があるとしている。

サンクビットは、米・ドライピット社の総代理店になっており、東邦レオ、三菱商事建材、カクトー、吉田産業など建材商社ルートへ材料販売している。

また、「ドライピットシステム」は「40年以上の歴史と、世界46カ国以上、年間1,400万m<sup>2</sup>以上という圧倒的な実績を持つ」とか。

イフスジャパンは、米・マスターウォール社の湿式外断熱工法「イフスジェイ・システム」の日本における独占販売権を得て1991年から現在までに60万m<sup>2</sup>以上の施工実績があり、日本一の実績と自負している。「イフスジェイ・システム」は米国北西部にあるユナイテッド・コーティング社と米国東部にあるマスターウォール社が外断熱業務で提携し、「工法」は両社の技術と経験によって開発したもの。断熱材は自己消火性発泡

スチロール。接着部材により透湿性を高めている。これまでディズニーランドなど大型物件を手掛けているが、近年は戸建て住宅向けが増えている。

高木コーポレーションは、米・SENER GY社の湿式外断熱工法「ウッドダリース」をRC、戸建てに販売する一方、輸入のモールディング、玄関ドア、階段材など住宅用商材の販売を行っている。「ウッドブリース」については、ベースコート、断熱材、グラスファイバーメッシュ、樹脂パーツ、発泡ウレタン、防水シート、ツール（道具）、フィニッシュコートなど部材一式を販売しているが、部材一式販売の形は他の輸入業者も同じことをやっている。

### 地下車庫の決定版

- バランスシャッタータイプ（T型）
- スイングアップドアタイプ（U型）

### ボックスガレージの特徴

経済的です

安全です

設備が備わっています

興建式

### ボックスガレージ



東京営業所 ☎ 042(365)3331  
神奈川営業所 ☎ 042(778)0035  
埼玉営業所 ☎ 048(822)9666  
北関東営業所 ☎ 0280(87)3411

**興建産業株式会社**

本社 東京都府中市南町5-38-3 ☎ 042(365)3331(代)

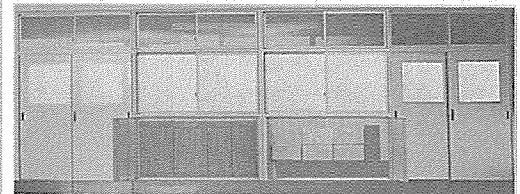
## 建材・住設ニュース

### 内装材

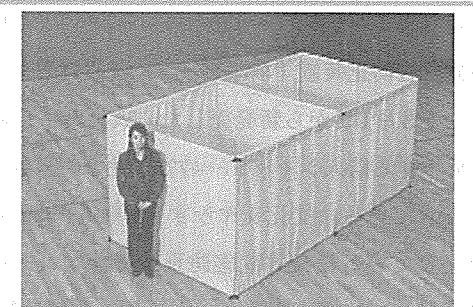
#### “避難所間仕切”パッケージ化

プライバシー確保 文化シャッター

文化シャッターは、“避難所用間仕切”を収納した「学校用間仕切プレウォールSA80C」と“避難所用”単体をパッケージ化した「間仕切パッケージ」を3月1日から新発売した。災害時の避難所でプライバシーを確保できるようにした。災害時に避難所として指定されている全国公立学校の体育館や教室へ向けて災害支援の一端を担うべく提案していく。学校の教室と廊下を仕切るスチール製の「学校用間仕切プレウォール」を1976年より販売しているが、今回発売する「学校用間仕切プレウォールSA80C」（以下、学校用間仕切SA80C）は、現行の学校用間仕切の掲示板や壁面となっているパネル内部に、避難時に使用する繊維シート製の“避難所用間仕切”を収納したもので、①軽くて持ち運びが容易、②工具が不要なはめ込み式で組み立てが簡単、③備蓄スペースを最小限にできるコンパクト収納、の3点を特徴とした災害対応機能付きの新商品となっている。この避難時に使用する“避難所用間仕切”は、軽くて丈夫な「紙管」と「樹脂製のジョイント」で構成される骨組みに、軽くて丈夫な「不織布」を仕切り材として組み合わせた構造となって



「学校用間仕切 プレウォールSA80C」



避難所用間仕切を2ブース分セットにした  
「間仕切パッケージ」

おり、1教室分に相当する「学校用間仕切プレウォール」のパネル内部に、最大で6ブース分を収納することができた。1ブースのサイズは、幅1.8m、奥行き1.8m、高さ1.5mで、就寝時に周囲の目線が届きにくい高さを設定している。また、この“避難所用間仕切”単体をパッケージ化した「間仕切パッケージ」を、既に防災用の備蓄庫を持つユーザー向け商品として用意した。「間仕切パッケージ」は、2ブース分の“避難所用間仕切”と専用の床マットがセットになっており、パッケージの梱包サイズは幅57cm、長さ165cm、厚さ11cmのコンパクト化を、重量は約11kgと軽量化を図っている。

参考価格は、「プレウォールSA80C」、出入口ユニット×2、パネルユニット×2、間仕切4ブース収納、775,000円（税込）、「間仕切パッケージ」、2ブース入り、42,000円（税込）。初年度販売目標2億4,000万円。

### シャッター

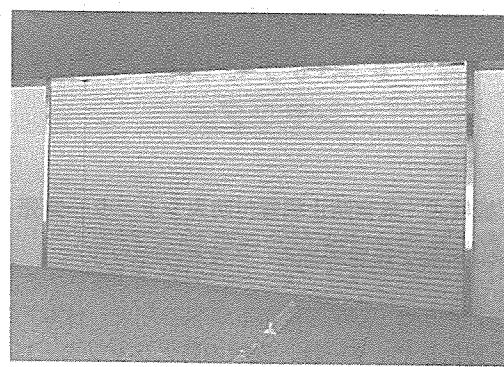
#### “機械式”危険防止装置付防火シャッター発売

既設に設置できる 文化シャッター

文化シャッターは、既設の防火シャッターに

## 建材・住設ニュース

設置できるバッテリー不要、省エネタイプの機械式危害防止装置「エコセーフ 既設対応タイプ」を3月1日から新発売した。火災時に自動で降下する防火シャッターの安全性を向上させている。文化シャッターが2011年より発売している機械式危害防止装置「エコセーフ」は、従来の電気制御に変わる同社独自の“機械制御”により、バッテリーの設置を不要としたオリジナルの装置となっている。そのため、バッテリーの交換が不要となり、バッテリーを充電する際の待機電力も発生しないことから、「エコロジー」な環境配慮型装置として採用されてきた。今回発売した「エコセーフ “既設対応タイプ”」は、バッテリーの設置が不要で省エネを実現した「エコセーフ」の基本性能に加え、これまで既設の防火シャッターに危害防止装置を設置する場合に配線や配管等の付帯工事が必要であった同社従来品に比べて、施工性の向上と建物自体への負荷を軽減させたストック対応の機械式危害防止装置となっている。なお、「エコセーフ “既設対応タイプ”」は、建物内部に設置された同社製の防火シャッターを設置対象としている。設置対象は、堅穴区画、面積区画の防火・防煙シャッター（屋内専用）。設計範囲は最大間口10m以下（最小間口1m以上）、高さ5.1m以下（最小高さ1m以上）。参考価格は、シャッター間口5m、高さ3mの場合、517,800円（消費税込み）。



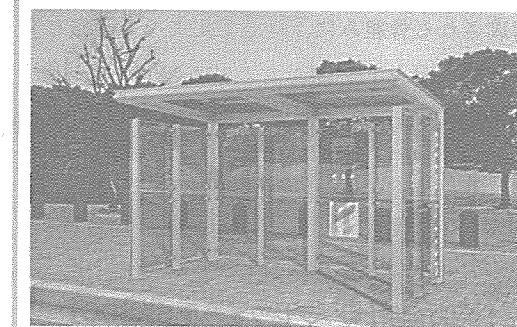
上)、高さ5.1m以下（最小高さ1m以上）。参考価格は、シャッター間口5m、高さ3mの場合、517,800円（消費税込み）。

### LIXIL ニュース

#### ソーラー仕様のシェルター・バス停発売

景観性が向上 LIXIL

LIXILは、景観性のある通路用シェルター・バス停「アキラインシェルター GK-A型」をTOEXブランドから3月1日より全国で発売した。「アキラインシェルター GK-A型」は屋根材に長期にわたって美しさを維持できる不燃材のガラス屋根仕様とソーラーパネル一体型屋根のソーラー仕様を用意した。ガラスは安全性の高い強化ガラスでクリア・遮熱・乳白の3タイプから選べる。ソーラーパネルは発電効率の良い6インチの単結晶セルを採用し、公称最大出力150Wを実現した。また、セル間の隙間から屋根下にも光が透過するライトスルーモジュールにより、採光性と適度な遮光性を確保する。参考価格（W2,100mm×L9,229mm×H2,500mm、600N/m<sup>2</sup>）は、ガラス屋根仕様3,320,000円（税別）、ソーラー仕様、5,209,600円（税別）。

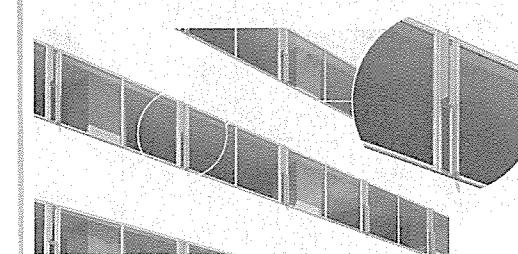


## 建材・住設ニュース

### 自然換気・縦型換気ユニット窓新発売

「シーガルウインドウ」 LIXIL

LIXILは、ビル用自然換気商品「シーガルウインドウ」を3月1日から全国で発売した。これから建築に求められるCO<sub>2</sub>削減・省エネ化など低炭素建築を可能にする窓として開発した。「シーガルウインドウ」は、その風が外壁面に沿って流れる特性を活かして、片面開口（一方の壁面にしか開口がない）空間にも、風の力による自然換気を実現する新しい縦型換気ユニットシステム。一方の障子で風をとらえ、他方で排気するため風の流れが生まれ、スマートな換気が行え、注目されるパッシブ建築、環境配慮型建築などをはじめとした幅広いニーズに、また新築及び改修にも対応する。近年の高層ビル外装は、FIX窓を使用し高気密、高断熱を重視した建築になっている。「シーガルウインドウ」を採用することで、夏季や中間季（春秋）は、ビルの外壁面に沿って流れる風をうまく利用し、空調を使用しなくても快適に過ごすことを可能にする。品種は、逆開き勝手段窓仕様、単窓仕様。カラー6色。参考価格は段窓仕様H=1,800、RC枠シルバー、56,900円（消費税）。

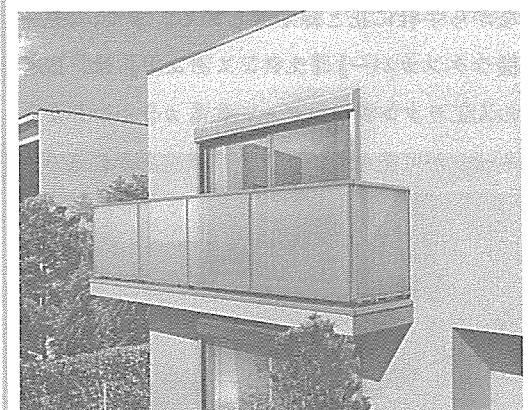


「シーガルウインドウ」イメージ施工例

### 「ベランダ手すりモダンパネル」新4機種

LIXIL

LIXILは、デザイン性の良さなどから戸建て住宅への設置率が年々伸びている「ベランダ手すりモダンパネル」に、笠木とパネルを一体としたものや門まわり商品とデザインをあわせたものなど、新商品4機種（『パネル一体タイプ』『縦格子一体タイプ』『ジオーナパネルYP型／LP型』『エコリル（ウッド）格子』）を追加し、システムブランドから2013年3月より全国で発売した。『パネル一体タイプ』と『縦格子一体タイプ』は、笠木と上枠を一体化した新構造で、近年のマンションに多用されているスッキリとしたデザイン。『ジオーナパネルYP型／LP型』と住まい全体で統一感のある外観コーディネートを実現した。「ベランダ手すりモダンパネル」は、木造だけでなく、中低層マンションに多いRC造にも設置が可能で、幅広い需要に対応できる。参考価格は、パネル一体タイプ、75,000円／m～。縦格子一体タイプ、57,000円／m～。（消費税別）

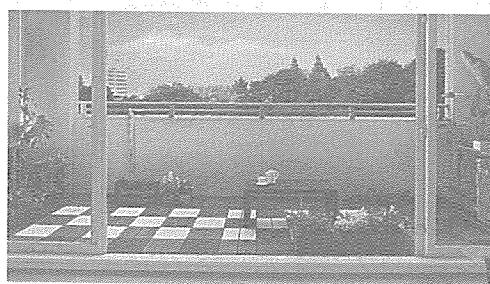


「ベランダ手すりモダンパネル  
パネル一体タイプ」施工例

## 建材・住設ニュース

### 「MD テラツツア」シリーズ発売 ガーデン製品 LIXIL

LIXILは、TOEXブランドから「ガーデンリビングファニチャー&グッズ」にベランダ向け新シリーズ「MD テラツツア」を追加し3月から全国発売した。「MD テラツツア」は、ナチュラルなデザインでコーディネートも楽しめるシリーズ。床材「MD テラツツア フロア」には、耐候性の高い強化木材と人造大理石の2種類の素材を用意している。強化木材は3デザイン・3カラーを用意しているので、色の濃淡や木目の差異によって、床面のイメージもさまざまに広がる。また、取り付けの際の工事が不要で、後付けや取り外しなど簡単に施工が可能。その他、強化木材製の緑化商品『フラワースタンド』と『フラワーボックス』、高級感あふれる人工ラタン材の『室外機ラタンカバー』と『ラタンスタンド』をラインアップしている。『フラワースタンド』『フラワーボックス』は、床材と同じ強化木材のため、床面に調和した質感とカラーでベランダ空間を美しくコーディネートしながら手軽に花と緑が楽しめる。また、『室外機ラタンカバー』『ラタンスタンド』は、既存の人工ラタンファニチャーにもカラーコーディネートが可能なので、より高級感あふれるリビング空間を演出できる。価格例は、「MD テラツツア フロア」、強化木材の場合、300×150、16,000円(税抜き)、10枚入り。人工大理石の場合、300×150、19,000円(税抜き)、10枚入り。

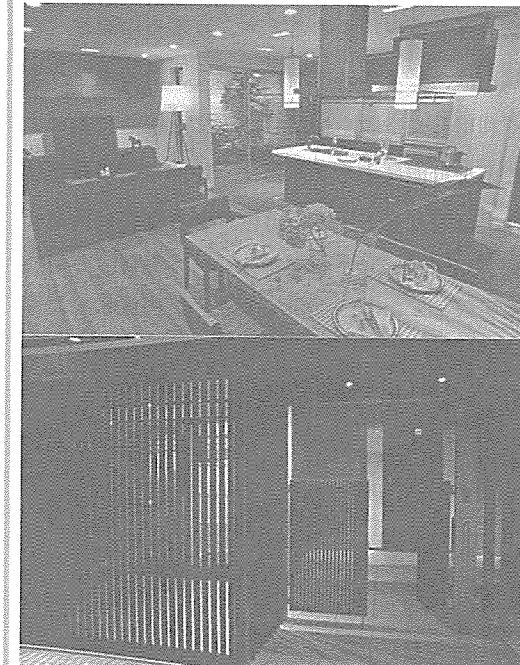


「MD テラツツア」シリーズ施工例

ング空間を演出できる。価格例は、「MD テラツツア フロア」、強化木材の場合、300×150、16,000円(税抜き)、10枚入り。人工大理石の場合、300×150、19,000円(税抜き)、10枚入り。

### 「LIXIL ショールーム箕面」オープン LIXIL

LIXILは、大阪府で初の新設ショールームとなる「LIXIL ショールーム箕面」(大阪府箕面市萱野45-45)を3月10日にオープンした。「LIXIL ショールーム箕面」は、展示面積約1,987m<sup>2</sup>と住設メーカーでは北摂エリア最大級のショールームとなる。1階と屋外には窓・玄関・エクステリア・外壁材などの外まわり商品を、2階には水まわり商品・内装建材・内装タイルなど家の中で使う商品を展示し、家づくりの過程において検討するタイミングの近い商品



「LIXIL ショールーム箕面」内観

## 建材・住設ニュース

代表者 森 憲司(非常勤)

業務内容 リニアコンプレッサならびに迅速流体継手(カプラ)の製造

従業員数 134名(予定)

設立日 平成25年4月1日

資本金 351百万タイバーツ

株主 主 日東工器99.54%

決算期 12月

をまとめることで見学しやすいよう工夫した。

また、家づくりのイメージを膨らませやすいよう、実際に住んでいるような感覚で商品を確認できる空間展示を充実させているほか、断熱窓「サーモスII-H」や節水トイレ「サティス」など最新の省エネ商品を揃えた。さらに、気持ちよく自然と共存する暮らしを提案する外まわり展示を充実させ、屋外にも約455m<sup>2</sup>もの展示スペースを用意した。

### 日東工器ニュース

タイに子会社設立、既存2子会社解散統合

日東工器

日東工器は、タイ国に新しく子会社を設立するとともに、既存の子会社を解散することを決めた。3月19日の取締役会で正式に決める。タイ国では、リニアコンプレッサをNITTO KOHKI (THAILAND) CO., LTD.、迅速流体継手(カプラ)をNITTO KOHKI COUPLING (THAILAND) CO., LTD.で生産を行ってきたが、業務の効率化を図るために2社を統合し、新たな子会社を設立する。タイ国子会社の設立、解散とともに平成25年3月期の業績に与える影響は、軽微と見込んでいる。設立する子会社の概要は次のとおり。

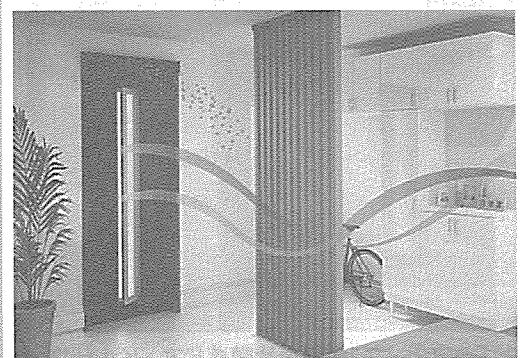
社名 NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.

所在地 64.64/1 Moo 9 Rojana Industrial Park, Rojana Road, Thanu Subdistrict, U-thai District, Ayutthaya 13210, Thailand

### 三協立山ニュース

業界初、「ナノイー」搭載内部額縫発売  
パナソニックと共同開発 三協立山

三協立山・三協アルミ社は、玄関ドア用の室内額縫として、パナソニック・エコソリューションズ社と共同開発した「ナノイー」搭載内部額縫を3月1日から発売した。「ナノイー」は、水に包まれた微粒子イオン。高反応成分(OHラジカル)、電荷を有し、弱酸性を示す5~20ナノメートルの微細な水粒子。一般的な空気イオンと比べて寿命が約6倍だから広範囲に届く。「ナノイー」はパナソニックの商標。同製品は玄関ドア枠上部から、「ナノイー」を発生させる。脱臭フィルターを介して空気を



## 建材・住設ニュース

循環しながら「ナノイー」を放出する。「ナノイー」のユニットの小型化を図り、内部額縁の上部框内蔵型のスッキリとしたデザインにした。必要な時に電源を入れて「ナノイー」を発生させる。電源が「入」状態の時は、「ナノイー」ユニットのマークが青色に点灯する(100V電源式)。壁厚に合わせたサイズを用意した。「ナノイー」ユニットには2色の設定があり、内部額縁の商品色に合わせて選べる。参考価格は、「ナノイー」(大)、片開きドア、107,000円(消費税別)、(小)100,000円(消費税別)

### 採風／玄関ドアの新デザイン新発売

内開き窓タイプ 三協立山

三協立山・三協アルミ社は、主力玄関ドア「ラフォース」の「採風ドア」(内開き窓タイプ)新デザイン製品を3月1日から発売した。また、1日で工事が完了するリフォーム玄関ドア「ラフォースR2」に高い採風ドアや新色をラインアップしバリエーションを充実させた。「採風ドア(内開き窓タイプ)」は、ドア内部の内開き窓から自然風を取り込む新スタイルを採用した玄関ドア。内開き窓の開閉によって、ド



「ラフォース」D74 片開きドア K4仕様

アを閉じたままでも通風・換気が行える。従来の採風機構であった上げ下げ窓タイプと比較して出幅を抑え、ドア外観をスリムに仕上げたスタイリッシュなデザイン。2012年春に発売した“採風ドア(内開き窓タイプ)”のスリットデザインは、季節を感じられる自然風を取り込めることにより省エネにも貢献できる点などが評価され、2012年度グッドデザイン賞に選ばれている。「ラフォースR2」は、洋風スタイルの住宅にも調和するホワイト色を新規設定した。リフォーム玄関ドアにおいてもニーズの高い“採風ドア(内開き窓タイプ)”を設定した。室内側目板がサンシルバー色の子ドアを設定した。参考価格例は、玄関ドア「ラフォース」、片開きドア、幅881×高さ2,330mm、423,200円(消費税別)。リフォーム玄関ドア「ラフォースR2」、片開きドア、幅882×高さ2,239mm、325,000円(消費税別)。

### 断熱玄関ドア「プロセレーネ」に新デザイン

三協アルミ社

三協立山・三協アルミ社は、ドア厚60mmで断熱性の高い玄関ドア「プロセレーネ」に、「スリット」「小窓」「鋳物」の3つのテイストを加え、新デザインとして発売した。これまでK1.5仕様になかった洋風デザインをラインアップするなど、格調の高い断熱玄関ドアのデザインバリエーションを拡充したこと、断熱性の高い玄関ドアを多彩なデザインの中から好みの商品を提供できるようにした。K2仕様とK1.5仕様(洋風・シンプルデザイン)を用意した。参考価格はK1.5仕様、親子ドアタイプ、幅1,235mm

## 建材・住設ニュース

×2,330mm、559,200円(消費税別)。

### 三協アルミ 2013年商品展示会

三協立山・三協アルミ社は、エクステリア(一部住宅・ビル用商品)主体の代理店・販工店など得意先を対象とした新商品展示会を次のスケジュールで行う。カッコ内会場。

- 静岡(ツインメッセ静岡)4月6日
  - 東京(東京ビッグサイト)4月12日
  - 福岡(福岡国際センター)5月17日・18日
  - 仙台(夢メッセみやぎ)5月26・26日
  - 名古屋(ポートメッセなごや)6月7・8日
  - 大阪(インテックス大阪)6月13日・14日
- 開催時間は仙台(9:30~17:00)を除き、10:00~17:30。

### エコ

#### 「エコハウスEXPO」で「楽窓II」など注目される セイキグループ

(既報)セイキグループは、2月27日~3月1日に開催された「第3回エコハウス&エコビルディングEXPO」で、窓の高断熱スクリーン「ハニカム・サーモスクリーン」、新発売の「楽窓II」、「サングリッドII」などを展示、環境住宅に欠かせないアイテムとしてアピールした。楽窓IIは納まり見込み寸法が40mmで取付けできるところが手軽で余分な造作を不要とするところから注目を集めた。この楽窓は大手メーカーの本格的内窓と比較しても遜色ないほどの断熱性能があり、戸建からマンションまで後付



で手軽に断熱化できるということで人気が高まっている。また、サングリッドIIは外付けの遮熱ロールスクリーンで、こちらも夏場の節電・省エネに欠かせない手軽な商品として注目度が高かった。

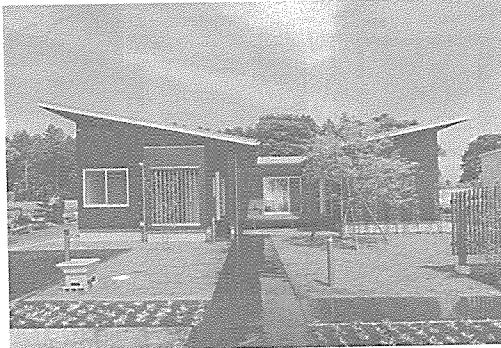
### 外壁材

#### 「第11回施工例写真コンテスト」入選作発表 日本金属サイディング工業会

日本金属サイディング工業会は、「第11回金属サイディング施工例写真コンテスト」の応募作品の審査を行い、その結果を3月12日に発表した。昨年7月から10月末までの期間中に応募のあった1,744作品の中から最優秀賞2作品(新築・リフォーム各1作品)、優秀賞8作品、入選賞40作品を選出した。今回のコンテストは工業会加盟8社が全国の設計事務所・工務店・板金店等の協力を得て昨年を大幅に上回る(約37%増)応募があった。対象作品は、新築及びリフォームの建物で、外装に金属サイディングを使用したものの中から、新築では建物の意匠性・高級感・コーディネート感覚など、トータルでバランスのとれた作品、リフォームでは

## 建材・住設ニュース

### ■最優秀賞／新築部門



株式会社イケダ工務店（栃木県）

施工前と比べ施工後に優れたイメージアップが見られる作品の選別を行った。また、今回も昨年に続き応募作品件数に応じた174,400円を東日本大震災の被災者支援のための義援金として3月1日に日本赤十字社を通じ寄付を行った。審査委員メンバーは次の各氏。特別審査員 江口恵津子（株式会社ヴェルディッシュモ 代表取締役 インテリアコーディネーター）、特別審査員 杉田宣生（一級建築士事務所 HARU ハル建築研究所）、委員 金田直治（工業会会長）、委員 広瀬 稔（工業会副会長）、委員 工業会理事・幹事・技術委員・事務局。

### 窓フィルム

高透明断熱タイプの窓フィルム発売  
　　リンテック／帝人フロンテア

リンテックと帝人フロンテアは、建物用ウインドーフィルムの新アイテムとして、「レフテルZC05G NX」「レフテルZC06T NX」を共同で3月1日から発売した。今回発売したのは、施工後に簡単にはがすことができるプロテクト

フィルムを従来アイテムに貼り合わせることによって、施工性を向上させた製品。施工の際に傷などがつきにくくなるよう配慮した。プロテクトフィルムは施工後に簡単にはがすことができ、もちろん従来アイテムと同様に、通年での高い省エネ・節電対策効果を維持する。ガラス飛散防止対策効果にも優れ、紫外線も99%以上カットする。リンテックでは、窓ガラス全面に貼ることで地震などによるガラス破損時の破片の飛散防止対策効果や、紫外線をカットする効果などを發揮する建物用ウインドーフィルムを、「ワインコス」の冠ブランドで全国展開している。中でも、帝人グループが20年以上前に開発し、15年前からリンテック社と共同展開している「レフテル」は、目に見えない菌赤外線域を中心に夏場の日射の熱エネルギーを大幅にカットする高透明断熱タイプの建物用ウインドーフィルムとして、すでに豊富な採用実績がある。

### ■標準施工価格

ワインコス レフテル	ZC05G NX	13,650円／m <sup>2</sup> (税込)
ワインコス レフテル	ZC06T NX	13,650円／m <sup>2</sup> (税込)

### 太陽光発電

第4回太陽光発電システム施工展  
施工業者向け専門セミナーの講演  
　　元旦ビューティ工業

元旦ビューティ工業は、2月27日～3月1日に東京ビッグサイトで開催された、「第4回太

## 建材・住設ニュース



「太陽光発電 施工業者向け専門セミナー」の27日に、同展特設会場にて、施工業者向け専門セミナーで講演をした。

「屋根メーカーから見た太陽光発電システムの設置工法 問題点と解決策」と題して、同社技術本部長 田澤浩臣氏（上顔写真）が好演した。

まず、「ここ東京ビッグサイトの会議棟大屋根は当社の施工です」と、会社紹介から始まり、創業以来45年にわたり大型屋根の水密・耐熱等高品質の性能と施工技術を研究、また20年前に新エネルギー（太陽光発電）の開発と、屋根の総合プロデューサーとして業界に貢献してきたという。このような実績からこのセミナーを担当したものと思われる。セミナーの主なポイントは、「日本の屋根は多種多様であり、気候風土の違いもあり、その建物に適した屋根の形状、材料、工法の選択が必要です。また、耐久・耐風圧・防水・断熱・遮熱・通気の各性能が求められ、それに意匠性が基本です」さらに、自然災害から建物を守る役割があるとし、台風のピーク外圧係数、地震の発生率及び、それぞれの高額支払保険の参考データをスライドで提示した。

留意点については、瓦用留め付け金具の施工についての不具合実例（設計用地震荷重の参考データも）をスライドで解説。小屋裏のタルキ

の配置（途中継ぎで、互い違いになっている場合もある）は、ビス止めのため点検をと、調査・記録を取って残すことを提案し、PV設置時には、屋根のリフォームを適切に、設計・施工が重要であると付け加えた。その他具体的な設置工法を実例紹介した。実績の多さから関心を高めていたようだ。

### ECO

#### 防汚コーティング市場を創出

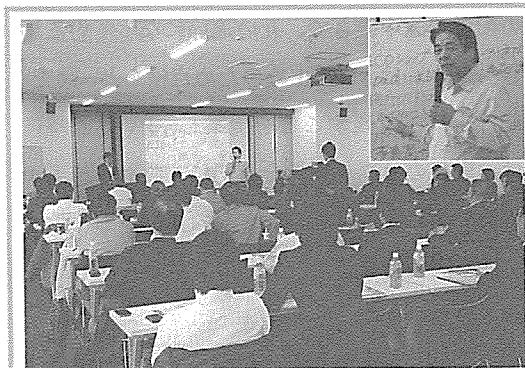
節電 ECO ビジネス全国加盟店会議開催

節電 ECO ショップ

節電 ECO ショップは、今年度初の「節電 ECO ビジネス全国加盟店会議」を、3月12日ヒューリックカンファレンス（台東区浅草橋）にて開催した。主な議題は、○省エネ ECO ショップ HPリニューアル及びオンライン注文サービス開始（特にiPadを使って販促ツールとして活用できる動画等配信）○水ベースの断熱ガラスコート、車用ボディ防汚コートの商品説明とデモ施工及び、防カビコートの商品説明○防汚コート、断熱コートなど海外現状報告である。今回の主要テーマは、海外や国内に向けて、ナノテクノロジー技術の進化を見据えて、今後期待できる防汚コート市場の創出が狙いという（同市場の他の進出は少ない）。

防汚コートとして、外壁は、条件によっては光触媒等で効果は期待できるものはあったが、苛酷な条件による窓ガラスに対するものは少なくなかったが、遮熱・断熱ガラスコートのスケッチが、それらに対応できるものを開発し

## 建材・住設ニュース



写真：上　顔写真は島田社長  
下　車用ボディ防汚コートのデモ施工

た。これは、特に、中国の黄砂、カーボン、車の排気ガスによる汚れに対応してきた経緯がある。このところ中国、東南アジア、ロシアからの依頼で、多くのデモ施工に出掛けており、その効果が認められ大きな施設の発注を得はじめていると島田社長の報告。

国内でも、外壁ガラスの施設が多く、有機質と無機質のサンドイッチ的汚れが多くなること(特に、ソーラーメンテもその一つ)を見通してのビジネスチャンスとしている背景があるようだ。そのために、「出先のどこでも、だれでも(登録会員が)、iPadを販促ツールとして、動画(バーチャル&ビジュアル)で分かりやすく説得できる内容データの発信を充実していきま

す」と高堰部長。また、砂塵や酸化物など無機物など風で飛ばされ摩擦で帶電してガラスに付着、その上に煤煙や排気ガスなど有機の汚れが覆い、それが無機の汚れを呼びサンドイッチ状態になるという、汚れのメカニズムを解説(青やけや白やけの汚れについても)。これらの汚れを解消するため、ナノサイズの超合金酸化タンゲステンやプラチナを塗膜表面に固着・配列し、ナトリウムイオンの溶出を抑えて青やけ白やけを抑えるなどでハードコート性、耐薬品性を高めた、帯電防止・防汚・超親水セルフクリーニングコート、外壁用「スーパーグラスバリア」、窓ガラス用「スーパーグラスバリアG」を開発している。

「地域ブロック毎に要請があれば、研修出張等の支援も実施します。防汚コート市場を共に勉強しながら開拓していきましょう」と島田社長。

※節電ECO ショップは、遮熱・断熱・防汚コートのメーカー、スケッチの販売代理店への業界関連情報や販促活動の支援本部。

今後市場性がある防汚コーティングに取り組みたい建設業者や各種資材販売店・施工店向けにお試しコース(研修費と初回試用分材料費込み)10万円ビジネスコースを用意。☎03(5820)1665。

## 建材・住設ニュース

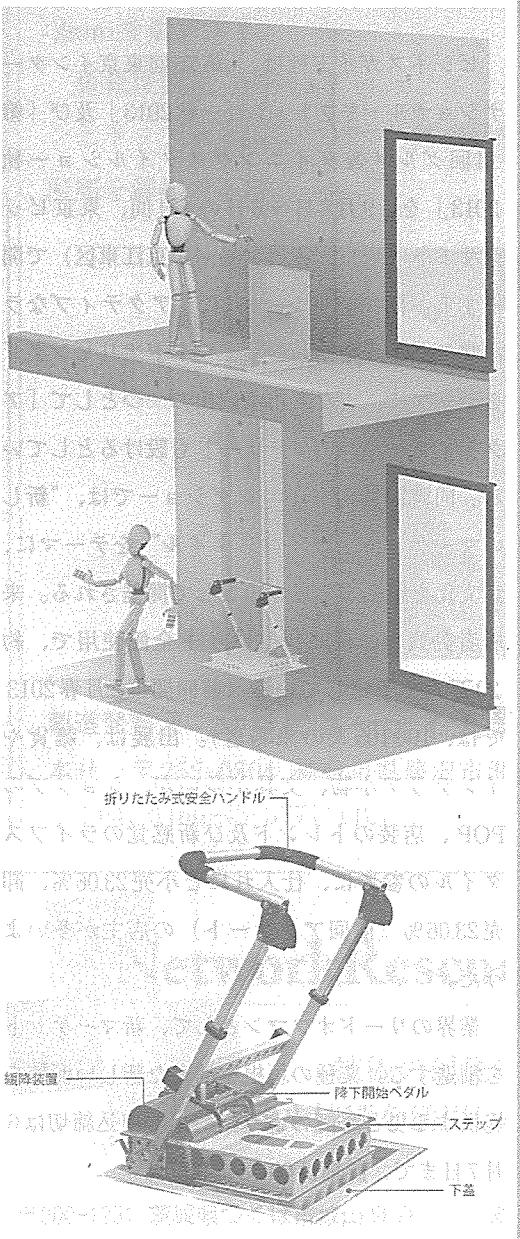
### 避難設備

高齢者や子供でも簡単操作でスムーズに避難

ユニバーサルデザイン新型避難器具

ナカ工業

ナカ工業は、3月5~8日、東京ビッグサイ



トで開催された、第19回「建築・建材展2013」に出展した。出展内容は、LED照明付き階段ノンスリップ、廊下手すり、開閉バルコニーパーテーション、スライドロック天井点検口、オフィス用OAフロアの新製品群、及び参考出品と多くの出展をしていた。

そこで、ユニバーサルデザイン新型避難器具のデモンストレーションで注目を集めていた。同製品は、はしごを使って避難が出来なかった高齢者や子供も確実に、安全に階下へ避難できる新世代の避難器具として紹介していた。主な特長は次の通り。

- 従来の床埋設式避難器具は、おりたたみはしごが主流で、はしごを使って避難出来なかった方でも安全、かつスピーディーに避難できる。

- ハッチを開いて折りたたみ式ハンドルを展開。ステップに乗り、降下開始、ペダルを踏むだけで自動的に降下を開始。人がおりると自動的に上階へ戻り、次の人を使える状態となる。

- 人の重さと支柱に内蔵されたおもりの働きによって自動的に、降下、上昇し、一度降下を始めると、階下までゆっくりと安全に降下するシステムで、電気は使用しない。

### 照 明

電源装置内蔵の超薄型で防滴仕様

照射角も広い LED ライト

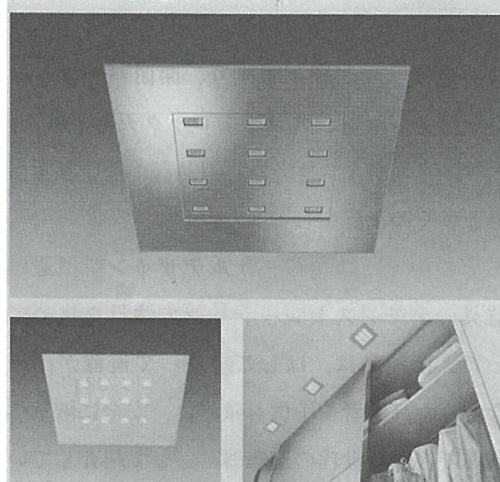
スガツネ工業

スガツネ工業は、LEDライト「ダウンライト／スティックライト」の新製品を発売した。

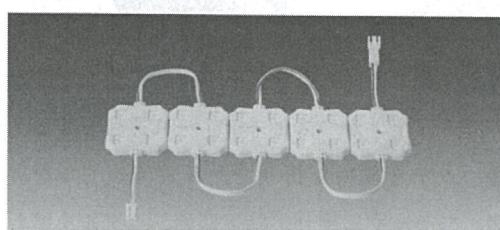
新製品の主な特長は、電源装置内蔵の超薄型

## 建材・住設ニュース

### Hera LEDライトQ78-LED



### Hera FM1-LED



で防滴仕様となっており、外部電源装置が不要なため、余分なスペースはとらないとしている。また照射角が広く（最高120°）、丸型、四角型、須テックタイプなど形状が豊富。キャビネット用、天井付タイプ、スティックライトと多様な品揃えをしている。その中で、一般的には丸型のダウンライトが多く、四角型をの要望に応えた（担当者）という。「LEDライトQ78-LEP」は、照射角110° 広角タイプと広い範囲に照らせるもの、もう一つは、スティックライトで、幅19mmや10mmの幅の狭いライン照明ができるものや、1ライン5灯を最大5ラインまで、自由な形状で曲げることもできるものもあり、キャビネット、キッチン、天井、店舗やホテルに多種多様な演出に活用できるものといえる。（建築・建材展2013／3月5～8日よ

り）。



### 秋2013 グルメ&ダイニングショー

#### Gift Show 開催

#### ビジネスガイド社

ビジネスガイド社は、「第76回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2013」と「第14回グルメ&ダイニンスタイルショー秋2013」を、9月4日～6日の4日間、東京ビッグサイト（東京国際展示場／東京江東区）で開催する。同ギフトショーは、“アクティブなライフスタイルを楽しむ「アウトドアリビング」”をテーマに、また新市場創出の一つとして「アクティブ シニアコーナー」も設けるとしている。同時開催のダイニングショーでは、“新しいマーケットとライフスタイル”をテーマに、食文化を創造する見本市として開催される。来場者動員は、同ビッグサイト全館使用で、約20万人を予定している（前回開催2月春2013では、196,105人の来場者）。出展は、雑貨やインテリア小物、文具が多いが、ショップのPOP、店装のトレンド及び新感覚のライフスタイルの参考に、仕入れにと小売23.06%、卸売23.06%（前回アンケート）の店主が多いようだ。

業界のリードオーフマンとして、新マーケットを創造する。業種の垣根を超えた新しい商談を提供する場と好評のようだ。出展申込締切は6月7日まで、詳細は03-3843-9851。

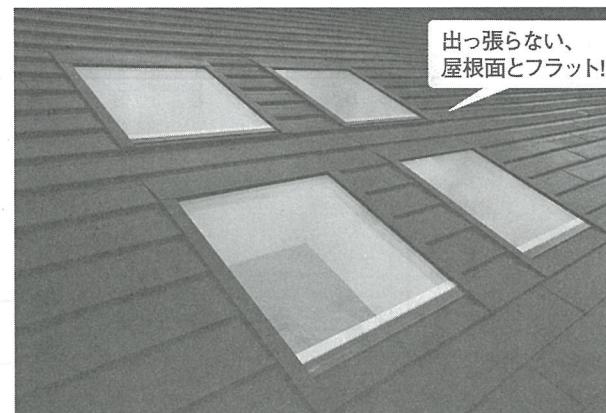
## フレッシュジャンプ商品

### 屋根一体型「元旦トップライト」

元旦ビューティ工業の「元旦トップライト」は出っ張らない、屋根一体型。横葺き屋根、パネル屋根、折板屋根、ソーラー屋根仕様、改修仕様がある。

屋根とトップライトに段差（谷）が無いタイプは雨水がスムーズに流れ、漏水の危険が減少する。標準本体仕様は開口部寸法：幅360×長さ517mm。安全対策として網入りガラスを設置。網入りガラスの下にポリカーボネート2mmを設置する。

折板屋根用（同社「ビューティフルL100・200」対応）は、折板屋根のラインとトップライトとのバランスで屋根意匠を引き立てる。工場に使えば昼間は照明を節約できる。



製造発売元 **元旦ビューティ工業株式会社** 0120-09-49-39  
本社 〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台1-1-21  
TEL 0466-45-8771（代）

### NetworkRescue for AudioVideo

技術の最先端「つくば」からのメッセージ  
デジタル技術を活用した一般民需サービスを展開しています。

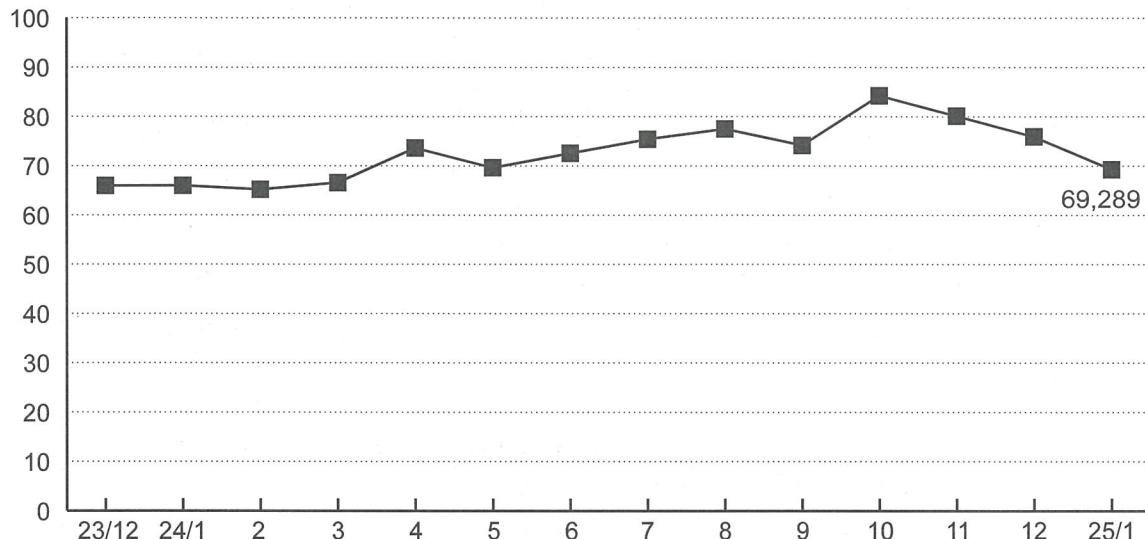
## 建築着工推移

(出所) 国土交通省

## 住宅着工計

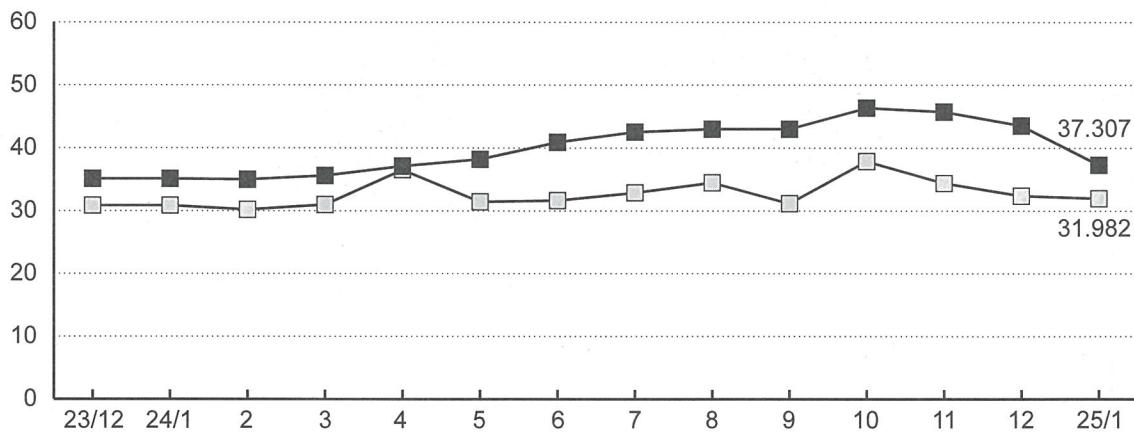
## ○新設住宅計

(戸)



## ○構造別

(戸 木造■ 非木造□)



**MITSUBISHI**  
三菱電機  
*Changes for the Better*

さらに充実! 改正建築基準法に対応した  
**〈24時間換気〉ラインアップ。**

ピッタリの24時間換気、  
三菱なら、  
きっとみつかります。

24時間換気 システムは 中津川  
市営施設からでもご利用頂けます。

三菱電機住環境システムズ株式会社 東京支社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-10-3 洋野ビル5階 TEL 03-3847-4115

業務用途におすすめ

- 店舗・事務所に
- 
- 

ユニット式  
Uni-unit & Strong

○居室・トイレ・浴室に




○居室・寝室に



○浴室に



○1システムで家全体を24時間換気




商品選定のことから換気計画のことまで、三菱電機 建築基準法換気設備ご相談センター

24時間換気 システムは 中津川  
市営施設からでもご利用頂けます。

三菱電機住環境システムズ株式会社 東京支社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-10-3 洋野ビル5階 TEL 03-3847-4115

www.MitsubishiElectric.co.jp/kankisen

0120-244672

三菱電機株式会社